10MHz	搬送周波数±（5.50MHzから14.50MHzまで）
	搬送周波数±（15.50MHzから24.50MHzまで）
15MHz	搬送周波数±（8.08MHzから21.75MHzまで）
	搬送周波数±（23.25MHzから36.75MHzまで）
20MHz	搬送周波数±（10.58MHzから29.00MHzまで）
	搬送周波数±（31.00MHzから49.00MHzまで）

イ　分解能帯域幅　30kHz
ウ　ビデオ帯域幅　100kHz
エ　掃引時間　測定精度が保証される最小時間
オ　Y軸スケール　10dB／Div
カ　入力レベル　最大のダイナミックレンジとなる値
キ　データ点数　400点以上
ク　掃引モード　単掃引
ケ　検波モード　ポジティブピーク

⑶　隣接チャネル領域における１MHz帯域幅当たりの送信相互変調積測定時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　中心周波数　探索された周波数
イ　掃引周波数幅　１MHz
ウ　分解能帯域幅　30kHz
エ　ビデオ帯域幅　100kHz
オ　掃引時間　測定精度が保証される最小時間
カ　Y軸スケール　10dB／Div
キ　入力レベル　最大のダイナミックレンジとなる値
ク　データ点数　400点以上
ケ　掃引モード　単掃引
コ　検波モード　サンプル

⑷　帯域外領域における送信相互変調積最大値探索時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　掃引周波数幅　チャネル間隔により次表のとおりとする。

チャネル間隔	掃引周波数幅
５MHz	搬送周波数±（2.55MHzから7.55MHzまで）
	搬送周波数±（7.55MHzから12.55MHzまで）
10MHz	搬送周波数±（5.05MHzから10.05MHzまで）
	搬送周波数±（10.05MHzから15.05MHzまで）
15MHz	搬送周波数±（7.55MHzから12.55MHzまで）
	搬送周波数±（12.55MHzから17.55MHzまで）
20MHz	搬送周波数±（10.05MHzから15.05MHzまで）
	搬送周波数±（15.05MHzから20.05MHzまで）

イ　分解能帯域幅　100kHz
ウ　ビデオ帯域幅　分解能帯域幅と同程度
エ　掃引時間　測定精度が保証される最小時間
オ　Y軸スケール　10dB／Div
カ　入力レベル　最大のダイナミックレンジとなる値
キ　データ点数　400点以上
ク　掃引モード　単掃引
ケ　検波モード　ポジティブピーク

⑸　帯域外領域における送信相互変調積探索時のスペクトル分析器は、次のように設定する。

ア　掃引周波数幅及び分解能帯域幅は、試験機器が発射可能な周波数帯域の区分に応じて、次表のとおりとする。

周波数帯域	チャネル間隔	掃引周波数幅	分解能帯域幅
700 MHz 帯、800 MHz 帯及び 900 MHz帯	５MHz	搬送周波数±（12.55MHzから22.5MHzまで）	100kHz
	10MHz	搬送周波数±（15.05MHzから30.0MHzまで）	
	15MHz	搬送周波数±（17.55MHzから37.5MHzまで）	
	20MHz	搬送周波数±（20.05MHzから45.0MHzまで）	
1.5GHz帯、1.7GHz帯及び2.0GHz帯	５MHz	搬送周波数±（13.0MHzから22.5MHzまで）	１MHz
	10MHz	搬送周波数±（15.5MHzから30.0MHzまで）	
	15MHz	搬送周波数±（18.0MHzから37.5MHzまで）	
	20MHz	搬送周波数±（20.5MHzから45.0MHzまで）	

イ　ビデオ帯域幅　分解能帯域幅と同程度
ウ　掃引時間　測定精度が保証される最小時間
エ　Y軸スケール　10dB／Div
オ　入力レベル　最大のダイナミックレンジとなる値
カ　データ点数　400点以上
キ　掃引モード　単掃引
ク　検波モード　ポジティブピーク